1）絵を読み、足し算・引き算の式と照応するものを結ぶ。
2）足し算と引き算の混成課題だが、引き算に重点がある。
3）全体集合の囲みは四角で表されていて、数式にもそれが反映されていることに気付かせ、まずは数える。
4）先行の2課題とは相補的な関係をもつことに留意。

a）前の課題と三部作をなし、推移律的な関連をもつ。
b）絵から数的な意味を読み取り、数式中の数の由来を理解することは、文章題を把握する準備として重要。
c）求残の引き算を考えるには全体集合か、求差の引き算を考えるには一対一対応の原理が必要。

Date ／
Note
評 □

？ ＝ 2 － 7

？ ＝ 2 ＋ 7

？ ＝ 2 ＋ 5

？ ＝ 2 － 5

？ ＝ 2 － 5

？ が ？ どれ